



クリスティアン・フラド・アラバ

- 対象楽器** : ケーナ、パンフルート、サンポーニャ、パーカッション
パーカッション：ドラムとティンパニは除く打楽器全般可
- レッスン条件** : 7歳以上／初心者から中級者
- レッスン言語** : 英語・ドイツ語・スペイン語
- 公式 HP** : <https://www.xtiamjurado.com/>
- 関連動画** : <https://youtu.be/DT4FRQRakE0>
<https://youtu.be/GpyjXy1O670>
<https://youtu.be/WOdmZIM7fyE>

□ 先生からのメッセージ

皆さん、こんにちは。私はオーストリア国籍を持つペルー人です。ペルーにはたくさんの日本からの移民の方がいらっしゃるので、私にとっては日本人や日本文化は子供の頃からとても身近でしたので、日本に関して大変興味を抱いております。

日本では、ペルー民族音楽の一つ、アンデス音楽がとても愛されていると聞きました。皆さんと共に、アンデス音楽

には欠かせないケーナやサンポーニャ、ラテン音楽ではリズムを担うパーカッションが大変重要で、カホンやジャンベ等打楽器全般の演奏法やリズムの感じ方などを一緒に探究していきたいと思います。

皆さんにお目にかかれる日を楽しみにしております。

□ プロフィール

ペルー、リマ出身。リマ国立音楽院にてコントラバスと声楽を専攻。1996年、ウィーンへ移住。2012年、ウィーン国立音楽大学で基礎音楽教育科を終了。その他幼稚園や学童保育の専門課程、スペイン語教師の専門課程等を取得。

2010年より、Pro-vo-Vereinにて、パーカッション、ポピュラー声楽、パンフルート、ケーナのレッスンをしている。

ラテンアメリカ音楽方面では、マルチプレイヤーとして知られており、ボーカリスト、パンフルート、ケーナ、パーカッション、ギターでの演奏活動を行っている。

2006年“ケ・タル・ラツァ”を結成し、作曲した曲の演奏活動に従事。2009年、サルサグループ“ソニソン”結成。また2012年、“プロ・ペルー”を結成。ペルーの音楽や文化をヨーロッパに広めるため、ライブ活動、コンサート活動に従事している。同年、香山あずさと共に“Sun-tres/サントレス”を結成し、尺八、篠笛、三味線を習得し、日本の音楽や文化にも貢献している。2017年、“ラ・バンダ”結成。また2017年から、アミリ氏プロデュースの毎年秋から冬にかけ毎週末あるコンサートでは、ウィーンの聴衆を魅了している。

2019年3月には、ウィーンのコツェルトハウスにて自作品でケーナとサンポーニャのソロとオーケストラ編成の『瞑想』が初演され、彼自身がケーナとサンポーニャのソロも担当した。この『瞑想』は、クラシック音楽とペルーの調べが融合した作品で、聴衆を神秘的で豊かな雰囲気へ導いた。

シンガーソングライターとして2020年3月、デビューアルバム“Tal Como Es/ありのままに”を発売し、CDプレゼンテーションでは、大変好評を博した。現在は、第2、第3のアルバムを作成中。